

1年()組()番 氏名()

現代社会 第1学期末考查問題

実施日時：2020年7月21日（火）第1時限
出題者：加藤 一郎

受考上の注意……よく読んでから解答を開始せよ。

- 問題は10ページまである。
- 解答用紙と地図は問題用紙に挟んである。
- 作図の問題は、問題用紙の図に書き込んで解答せよ。…とくに注意**
- 解答用紙と地図は問題冊子に挟んで提出せよ。
- 文章で答える問題は、**解答欄の途中で改行してはならない。**
- 不必要なひらがなでの解答や誤字等は減点する。

今年度の現代社会は、新型コロナウイルスの感染拡大で浮き彫りになった社会の課題と、コロナ後の社会のあり方に焦点をあてて授業を展開します。さまざまな視点から考察することによって、問題や課題を明らかにし、これから社会をどのように構築していくか、ともに考えていきましょう。

第1問 これからの教育のあり方に関する各間に答えよ。(46)

I 新聞記事からこれからの教育を考える

「デジタルで効率的な学びを」 豊福晋平・国際大准教授 教育改革 危機が促す (2020.7.6 付・日本経済新聞)

(1)新型コロナウイルス禍の一斉休校は学習機会の格差を生んだ。感染拡大の「第2波」や災害などに襲われた際も学びを止めない「学びの保障」に必要なのは、オンライン(遠隔)指導の充実を中心とした学校教育のデジタル化だ。教育の情報化に詳しい国際大学グローバル・コミュニケーション・センターの豊福晋平准教授に課題を聞いた。

● 休校中や登校再開後の学校のデジタル対応はどうなっていますか。

「(2)休校中に遠隔授業を始めたものの、対面授業が再開された途端にやめる学校が目立つ。分散登校や校内の消毒などで教員の負担が増しているためだ。『遠隔授業は対面授業の代替手段にすぎない』という意識が表れている。」

● 学校のデジタル対応にはもともと、地域差がありました。

「新型コロナでその差はさらに広がった。(3)在宅勤務になじんだ保護者も『学校はなぜオンライン指導ができないのか』と疑問を持つようになっている。多くの子育て世代が教育のデジタル化施策に注目しており、自治体は対応を問われる。」

● 日本の学校教育のデジタル対応はなぜ遅れたのでしょうか。

「教育関係者の危機感が薄かった。子どもたちは教員の指示でパソコンの操作方法を習う程度で、校内でメールやSNSを使うことはほぼなかった。日常的に使わないため機材トラブルが起きやすく、教員も活用を敬遠しがちだ。デジタル対応が進んでいる北欧や米国では子どもが使い慣れ、教員の負担が少ない。」

● 学習にデジタル機器は有効ですか。

「社会が多様化し、子どもが学ぶカリキュラムも増えている。デジタル機器を使って効率よく学ばざるを得ない。教員が一方的に教える授業ではなく、児童生徒が各自のペースで学んだり、端末を使ってグループで話し合ったりしやすくなる。感染『第2波』や災害で登校できない状況が起きたときも、児童生徒と保護者、教員がつながりを保つ連絡手段があることは安心感につながる。」

● (4)日本の学校が*デジタルトランスフォーメーション(DX)を進めるために必要なことは。

「プログラミングや人工知能(AI)を学ぶことだけがDXではない。公教育のあり方を圧倒的な情報量を扱うテクノロジーで変えるのが世界の潮流だ。」「まず教育関係者がデジタルの日常利用への意識を持つことだ。政府は公教育に十分な予算を費やし、子ども一人につき1台の端末配備を急ぐべきだ。デジタル機器の活用を前提としたカリキュラムづくりも必要だ。」(聞き手は松浦奈美)

豊福晋平氏(とよふく・しんぺい) 国際大グローバル・コミュニケーション・センター准教授。専門は学校**教育心理学、***教育工学。教育の情報化の専門家で、多くの自治体などにデジタル対応の施策を助言している。

* デジタルトランスフォーメーション(DX)とは、ITの浸透が人々の生活をあらゆる面でよりよい方向に変化させるという概念のこと。

** 教育心理学とは、学習や発達、成長など教育に関わる心理学について研究する学問のこと。教師の役割や効果的な学習法など、具体的な現象や問題の心理学による解明も行う。

*** 教育工学とは、教育現場の改善のために教育効果の高い教育機器などを設計・開発・評価する学問のこと。

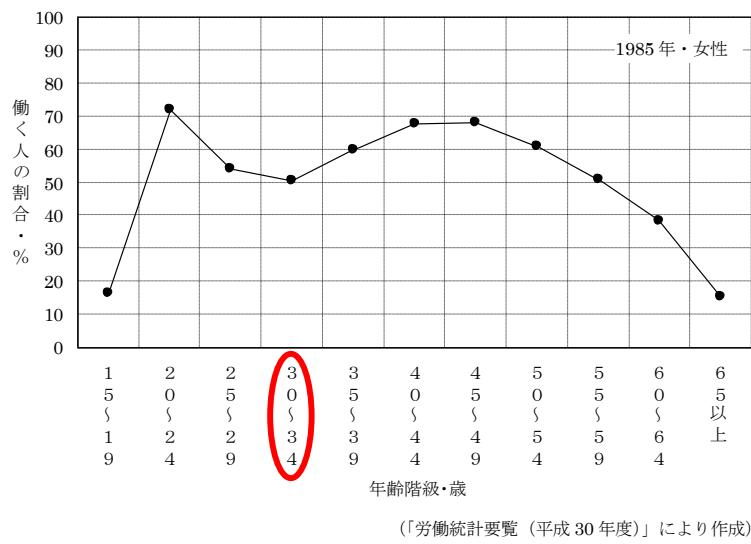
問1 下線部(1)の格差の例を一つ、これまでの臨時休業中のすべての課題の学習を通じて 2 行以内の文章で答えよ。(4)

問2 下線部(2)の理由を豊福氏はどのように説明しているだろうか。記事からそのまま抜き出して答えよ。(2)

コメントの追加 [A1]: 問題作成者としては、異なる世代間の格差(昨年はフルで学校生活を楽しめたのに・など)ではなく同世代間の格差(公立と私立の ICT 環境の違いなど)に気づいてほしかった。「強制力が働かない中で、学習した人とそうでない人の差が開いた。」という解答が多くあったが、このようなことはコロナ前から当たり前のようにあったことです。

問3 下線部(3)に関して、今回のコロナ禍を通じてデジタル（ICT）を活用した在宅勤務が広がり、仕事の効率性や働く時間の柔軟性などから在宅勤務にプラスの評価を下す人も少なくない。加えて在宅勤務は、とりわけ子育て世代の女性の働き方を大きく変える可能性があるといわれている。だからこそ、教育の分野の対応の遅れに疑問を持つ人が増えてきたものと推察される。(12)

(i) 図1は、1985年の女性の年齢階級別労働力比率（働く人の割合）を示したものである。表1をもとに2018年のグラフ（図2）を作成せよ。(4)



（「労働統計要覧（平成30年度）」により作成）

図1

表1

年齢階級 (歳)	働く人の割合 (%)
15~19	20
20~24	75
25~29	84
30~34	77
35~39	75
40~44	80
45~49	80
50~54	79
55~59	73
60~64	58
65以上	18

(注) • 性別は女性。
• 統計年次は2018年。

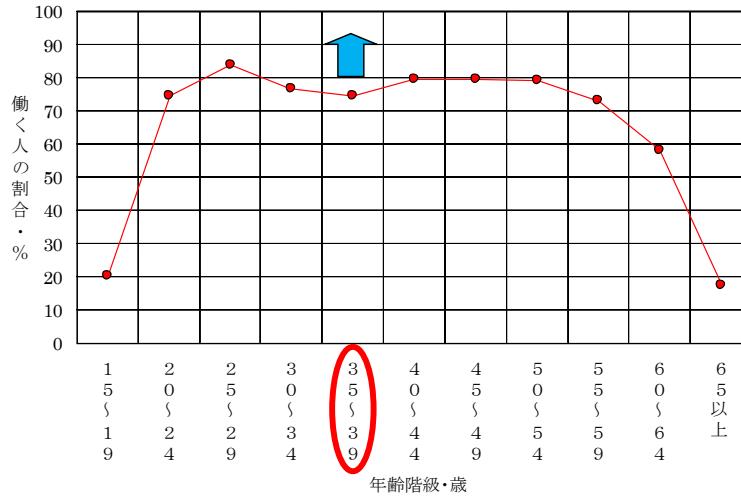


図2

- (ii) 図1（1985年）と図2（2018年）の時点における子育てのピークはそれぞれいつだろうか。図1・2の年齢階級（15～19など）にそれぞれ一つずつ赤の○を記入せよ。(4)
- (iii) デジタル（ICT）を活用した在宅勤務の普及によって、図2のグラフはどのように変化すると予測されるか。図2中にグラフの変化の方向を端的に表す青の矢印を一つだけ記入せよ。(4)

- 問4 下線部(4)に関して、豊福氏は日本の学校がDXを進めるために必要な条件を三つあげている。三つの条件を箇条書きで簡潔に（それぞれ1行の文章で）答えよ。(6)

コメントの追加 [A2]: グラフの落ち込んだところに注目する。1985年と2018年では、子育てのピークの年齢もさながら落ち込み幅は2018年の方がはるかに小さい。その理由として考えられることは何だろうか？

コメントの追加 [A3]: 第2章2節の学習で、子育て世代の女性と在宅勤務の親和性については学習した。在宅勤務の普及によってグラフの落ち込みが改ざんされることが期待されている。

コメントの追加 [A4]: 豊福氏の三つの主張のうち、「子ども一人につき1台の端末を配備」すればDXは進むという考え方には、問題作成者は疑問を感じています。

II ICTとライブ授業に関するアンケート調査結果からこれからの教育を考える

- (1) あなたの自宅にあるICT機器をすべて選んでください。
- ① パソコン ② タブレット ③ スマホ
- (2) あなたが専用で使用できるICT機器をすべて選んでください。
- ① パソコン ② タブレット ③ スマホ
- (3) あなたは臨時休業中、ライブ授業を1回でも受けましたか。
- ① 受けた ② 受けていない
- (4) ※ライブ授業を受けていない人のみ ライブ授業を受けなかった理由を正直に答えてください。(自由回答)

表1

(1) 家庭にあるICT機器

	人数 (人)	割合 (%)
すべて(パソコン・タブレット・スマホ)	50	30.9
二つ(タブレット・スマホ, パソコン・スマホ)	80	49.4
スマホのみ	32	19.8
合計	162	/

(2) 自分専用のICT機器

	人数 (人)	割合 (%)
すべて(パソコン・タブレット・スマホ)	7	4.3
二つ(タブレット・スマホ, パソコン・スマホ)	29	17.9
スマホのみ	126	77.8
合計	162	/

(3) ライブ授業

	人数 (人)	割合 (%)
受けた	15	a
受けていない	147	b
合計	162	/

- (注) • 6月11日(金)以降の初回の授業でアンケートを実施。
 • Google Formsを利用。
 • 回答者は加藤担当の1年1・5・6・7組の生徒が主である。

問5 表1中の空欄a・bにあてはまる数字をそれぞれ答えよ。ただし、小数第2位を四捨五入して小数第1位まで答える
(例: 10.66%→10.7%) ものとする。(4)

コメントの追加 [A5]: 受けた人の割合は、 $15 \div 162 \times 100$ で計算できる。

問6 ライブ授業を受けた生徒は少ないが、より多くの生徒が受けられるようにするために整備が必要なICT機器(パソコン・タブレット・スマホ)は何だろうか。表1の(1)または(2)に基づいて答え、その理由を2行の文章で答えよ。(4)

コメントの追加 [A6]: 表1(2)に注目する。すると、自分専用のICT機器は8割近くの生徒がスマホのみである。合わせてアンケートに回答している生徒全員がスマホを持っていることにも注意したい。オンライン授業の受講やネット上の資料の閲覧等はスマホでも可能であるが、画面が小さいためにこれらの用途には向きである。このことから、パソコンまたはタブレットの整備が必要だろうと考えられる。

問7 ライブ授業を受けなかった生徒147名を対象に、その理由を自由回答形式で尋ねた。回答をア～オの五つのパターンに分類して集計したものが表2である。(14)

表2

(4) ライブ授業を受けなかった理由

	人数 (人)	割合 (%)
ア. 意欲の問題	34	23.1
イ. 情報の問題	38	25.9
ウ. 時間の問題	28	19.0
エ. ICTの問題	22	15.0
オ. 自由参加の問題	7	4.8
その他(分類不能、無回答)	18	12.2
合計	147	

(i) 次の回答a～eは、表2のア～オのパターンのいずれかにあてはまる。回答a～eがあてはまるパターンをそれぞれ選んで答えよ。ただし、回答にに対して重複するパターンはない。(10)

- a. 強制ではなかったから。
- b. やる気がなかったから。
- c. 他の課題をやっていたため。
- d. ライブ授業をやっていたことを知らなかつたため。
- e. ビデオ会議システムの使い方が分からなかつたから。

(ii) 表2を見ると、先の問4で答えた豊福氏が指摘する「学校がDXを進めるために必要な三つの条件」だけでは不十分なことに気づく。DXのためにもう一つ何が必要か、表2に基づいて2行の文章で答えよ。ただし、生徒の立場に立って答えるものとし、「私たち生徒側も」で始まる文章とする。(4)

コメントの追加 [A7]: 「生徒の立場」で考えることがこの問題の肝。
表2の情報の問題、時間の問題、ICTの問題、自由参加の問題、いずれも元をたどると意欲の問題に集約できるのではないだろうか。

第2問 「自肃警察」とよばれる行動をする人々の思考に関する各間に答えよ。(34)

自肃警察の教訓／本質を見極める力を養おう（2020年6月8日付・河北新報社説）

新型コロナウイルスの感染者数は、全国的に見て*小康（しょうこう）状態が続いている。世界保健機関（WHO）が日本国内のウイルス対策を「成功」と称賛するほど流行を抑えることができたのは、第一に医療従事者や感染症専門家の奮闘があってこそその結果と評価したい。強制力が伴わない自治体の自肃要請に応え、飲食店をはじめ商業施設の営業や不要不急の外出を控えた国民の生真面目さ、勤勉さも感染抑制に貢献したことは間違いない。

一方で新型コロナの余波には懸念が残る。日本人の**気質（きしつ・かたぎ）ゆえか、和を乱さずに困難を乗り切るべきだという心理や同調圧力が、***非違行為につながっていたことも省みなければならない。その典型が(1)「自肃警察」だろう。行政による自肃要請が守られているかどうか目を光らせ、外出する人や営業中の店舗を過度に批判したり、不利益や不公平感を排除しようと威圧的な態度を取ったりする行動が社会問題化した。東京都内では、無観客でのライブをインターネット配信したダイニングバーで4月下旬、営業自粛と警察への通報を告知する紙が貼り付けられているのが見つかった。5月には区職員の誤った（ a ）感から、(2)緊急事態宣言下で営業する飲食店を「営業するな！火付けるぞ」と脅した事件が発生された。感染に対する極度の（ b ）からなのだろう。全国的には、県外ナンバーの車をあおる、壊すといった嫌がらせ、新型コロナ感染者の身元を特定して匿名で攻撃するなどの無分別な行為が確認されている。

(3)国内には1945年の敗戦まで、「治安維持」を冠した法律があった。それがもとで個人の自由が奪われ、相互を監視し、密告する風潮が広がったといわれている。これに似た現象が、自肃警察の名の下で起きていた気がしてならない。

NPO 法人全国ラジオ体操連盟（東京）はホームページと文書で4月、朝のラジオ体操会の休止を各地の主催団体や指導士に要請した。一義的には新型コロナ感染の抑止だが、「体操会をやめていいのは不謹慎だ」「感染の不安がある」とのクレームが連日、電話やメールで寄せられたことが背景にある。早朝のラジオ体操は公園や広場で行われており、(4)「3密」は防げる環境だ。運動不足の解消のみならず、隣人同士の安否確認、コミュニティ維持の役割も果たす。コロナ禍でメンタルヘルス対策としても重要な活動が、自粛の同調圧力によって排斥（はいせき）された具体例と言える。

新型コロナはまだ、撲滅には至っていない。感染の第2波の襲来は確実視されている。意に沿わない行動をただ攻撃するのは、成熟した社会ではない。幅広い視点に立って物事の本質を見極める力を養っていかなければ、見えない敵には勝てない。

* 小康状態とは、一旦悪くなっていたものがやや回復して落ち着いている状態のこと。

** 気質とは、身分や職業などに特有な気風や性格のこと。

*** 非違行為とは、非行や違法行為のこと。

(注) この記事は、新規感染者数が減少した2020年6月8日付けの記事であり、現在とは状況が異なる。

問1 空欄にあてはまる語句をそれぞれ漢字2字で答えよ。ただし、空欄aは「せ」で、空欄bは「ふ」で始まる。(4)

コメントの追加 [A8]: 空欄aは「責任」も可。

問2 下線部(1)に関する各間に答えよ。(14)

(i) 記事には自肃警察の具体的な例が複数あげられている。具体的な例を記事から二つ選んで簡条書きで答えよ。

ただし、授業でとりあげた「県外ナンバーのクルマへの嫌がらせ」は除く。(4)

コメントの追加 [A9]: 「抜き出し」ではないことに注意。

(ii) 記事を書いた筆者は、自肃警察の原因を日本人特有の気質から説明している。このことを記事からそのまま抜き出して答えよ。(4)

コメントの追加 [A10]: 「抜き出し」の場合は、適切な部分のみ抜き出すことを心がけてほしい。「同調圧力」とは、同じ考え方や行動が強要されるような雰囲気（空気感）のこと。

(iii) 先の (ii) で答えた日本人特有の気質は、表1中のア～エの非合理的思考パターンのどれにあてはまるか答えよ。(2)

コメントの追加 [A11]: 「国難を乗り切るべき」だから、「ねばならぬ」思考にあてはまる。

表1

非合理的思考パターンとその例	
ア	「ねばならぬ」思考 例：自分は絶対成功しなければならない。
イ	「もうおしまいた」（悲観的）思考 例：失敗したら自分の人生はおしまいだ。
ウ	「もうだめだ」（欲求不満低耐性）思考 例：ここで失敗する自分に耐えられない。
エ	「他人のせい／自分のせい」（非難／卑下）思考 例：失敗したのは あいつの せいだ。 例：失敗するような自分が許せない。

(教科書 p.37 「四つの非合理的思考」により作成)

(iv) 先の (iii) で答えた非合理的思考パターンを排して合理的思考をするために、記事の筆者が主張する私たちに必要な力とは何だろうか。記事からそのまま抜き出して答えよ。(4)

コメントの追加 [A12]: 「必要な力」は何かと聞いていることから、抜き出す部分が決まる。

問3 下線部(2)に関して、新型コロナ感染拡大を防止するため、政府は 4 月 7 日に埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・大阪府・兵庫県・福岡県に緊急事態宣言を発出し、4 月 17 日に対象地域を全国へ拡大した。そして 5 月 25 日に緊急事態宣言は解除された。(8)

(i) この緊急事態宣言は新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づいて発出されたものである。第 5 条には、「国民の自由と（ ）が尊重されるべきことに鑑み、新型インフルエンザ等対策を実施する場合において、国民の自由と（ ）に制限が加えられるときであっても、その制限は当該新型インフルエンザ等対策を実施するため必要最小限のものでなければならない。」とあり、行動制限は政府や自治体が国民に自粛を要請する形で行われた。空欄にあてはまる語句を漢字 2 字で答えよ。ただし、「け」で始まる。(2)

(ii) 日本国憲法第 25 条 1 項には「すべて国民は、（ a ）で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。」とあり、（ b ）権が規定されている。空欄にあてはまる語句をそれぞれ答えよ。(4)

(iii) 日本国憲法第 22 条 1 項には「何人も、（ ）に反しない限り、居住、移転及び職業選択の自由を有する。」とあることから、たとえば緊急事態宣言中に要請された「都道府県をまたぐ移動」について、私たちは自覚と責任をもって判断して行動することが求められていたと考えられる。空欄にあてはまる語句を答えよ。(2)

問4 下線部(3)の代表的な法律が 1925 年に制定された治安維持法である。このような法律によって、当時の日本の社会にどのような空気感が形成されていったのだろうか。記事からそのまま抜き出して答えよ。(4)

コメントの追加 [A13]: 憲法のおもな条文は覚えておくと、公務員試験などで力を発揮する。

問5 下線部(4)に関して、「3 密」とは、密閉・（ a ）・（ b ）のことである。空欄にあてはまる語句をそれぞれ漢字 2 字で答えよ。(4)

コメントの追加 [A14]: 「空気感」＝「風潮」と考えほしい。相互監視や密告、このような社会が形成されないようにするために、われわれ一人ひとりが積極的に政治に関わっていこうという姿勢が重要である。

第3問 国・首都の名称に関する各間に答えよ。なお、国的位置は問題冊子に挟んであるA3版の地図を用いて答えよ。(20)

問1 次の説明にあてはまる国と位置をそれぞれ答えよ。(12)

- a. イングランド・ウェールズ・スコットランド・北アイルランドの連合王国(ユニテッドキングダム、UK)。EU脱退(ブレグジット)後の経済の見通しが不透明。
- b. 世界最大の国。世界初の社会主義国ソ連を継承する国連安全保障理事会常任理事国。石油などの資源豊富。ウラル山脈以東のシベリアは地域区分上アジアに分類。
- c. アラブ最大の国。多額の石油収入を産業の多角化に投資し、脱石油をめざす。イスラム教の聖地・メッカはこの国にあり、世界中から信者が巡礼に訪れる。
- d. 1945年まで日本の植民地。1948年にアメリカの支援を受けて成立。1965年以降、日本の援助で工業化に成功。1988年にオリンピック開催。焼肉、キムチ。
- e. 当初はイギリス国内の犯罪者を送る植民地。1970年代まで有色人種の移民を制限する「白豪(はくごう)主義」を実施。グレートバリアーリフは世界最大級の珊瑚礁。
- f. ラプラタ川流域の温帯草原はパンパとよばれ、この国の主要な穀倉地帯。南部のパタゴニア地方は寒冷・乾燥の草原・砂漠。

問2 次の説明にあてはまる国と位置と首都の名称をそれぞれ答えよ。(8)

- a. 首都は別名「花の都」とよばれ、古くからヨーロッパの文化の中心。「自由」「平等」を掲げる18世紀末から始まった革命はヨーロッパ全体に大きな影響を与えた。ナポレオン。
- b. スマトラ・ジャワなど多数の島からなる島国。世界最大のイスラム教国。石油・石炭などエネルギー資源が豊富。アブラヤシから採取したパーム油の生産量は世界一。
- c. ナイル川沿岸では古代文明が発達。ピラミッドは観光名所。スエズ運河はヨーロッパとアジアを結ぶ航路を飛躍的に短縮。
- d. 旧ポルトガル植民地。国土はアマゾン川流域の熱帯雨林と南部の熱帯草原。コーヒー・サトウキビ・大豆・鉄鉱石の世界的生産国。リオデジーニョはオリンピック開催地。

※ 問題終わり。

現代社会 第1学期末考査解答用紙（1）

第1問 (46)

問1	私立高校ではICTを活用したオンライン授業等が行われているのに、公立高校では取り組みが遅れていること。	
問2	分散登校や校内の消毒などで教員の負担が増しているためだ。	
問4	<ul style="list-style-type: none">教育関係者がデジタルの日常利用への意識を持つこと。子ども一人につき1台の端末配備を急ぐこと。デジタル機器の活用を前提としたカリキュラムづくりを行うこと。	
問5	a 9.3	b 90.7
問6	整備が必要なICT機器： パソコン・タブレット * 完答4点 理由： 自分専用のICT機器をスマホのみとしている生徒が全体の77.8%を占める。スマホでは画面が小さく、映像を見づらいため。	
問7	i a オ b ア c ウ d イ e エ	* 各2点
ii	私たち生徒側も やる気がないからやらない、知らなかったから仕方がないではなく、意欲的に自分から学習に臨む姿勢が求められる。	

* 図中に答える問題の配点に修正があります。(2020.7.22 追記)

p.4 () 点／2点 1985年の子育てのピーク (2点)

p.5 () 点／10点 折れ線グラフ (4点)・2018年の子育てのピーク (2点)・
グラフの変化の方向を示す矢印 (4点)

1年()組()番 氏名()

現代社会 第1学期末考査解答用紙（2）

第2問 (34)

問1	a 正義	b 不安
問2	i	<ul style="list-style-type: none"> 外出する人や営業中の店舗を過度に批判すること。 不利益や不公平感を排除しようと威圧的な態度をとること。
	ii	和を乱さずに国難を乗り切るべきだという心理や同調圧力
問3	iii ア	
	iv 幅広い視点に立って物事の本質を見極める力	
問4	(個人の自由が奪われ、)相互を監視し、密告する風潮	
問5	a 密接	b 密集

* 順不同

第3問 (20)

問1	a 記号: 53 国: イギリス	b 記号: 18 国: ロシア
	c 記号: 34 国: サウジアラビア	d 記号: 51 国: 韓国
	e 記号: 46 国: オーストラリア	f 記号: 11 国: アルゼンチン
問2	a 記号: 56 首都: パリ	b 記号: 43 首都: ジャカルタ
	c 記号: 23 首都: カイロ	d 記号: 12 首都: ブラジリア

第2問 問2(i) のほかの解答

- ダイニングバーに営業自粛と警察への通報を告知する紙の貼付。
- 緊急事態宣言下で営業する飲食店に「営業するな！火を付けるぞ」と脅した事件。
- 新型コロナ感染者の身元を特定して匿名で攻撃すること。
- 朝の体操会に対するクレームの電話やメール。